

第1回新市立病院設計事業者選考委員会議事録

- 1 日 時 令和元年12月17日（火）13：20～14：15
- 2 場 所 横須賀市役所 1号館 3階 会議室A
- 3 出席委員 遠藤委員、土屋委員、石渡委員、山岸委員
- 4 事務局 地域医療推進課 椿課長、鷺阪主査、飯嶋主査、原口主任、藤岡
(株)病院システム 3名
- 5 傍聴者 0名（非公開）
- 6 議事内容
 - (1) 委員会の開催にあたり
(事務局) 本日、渡邊委員が所用により欠席しているものの、新市立病院設計事業者選考委員会条例第5条第2項に基づき、半数以上の出席があることから、本委員会を開催することとする。
 - (2) 委員長の選任について
(委員) ときわ会グループの顧問を務められ、過去に神奈川県立病院機構の理事長ほか多くの代表を務められた実績のある、土屋委員を推薦する。
(委員一同) 異議なし。
(事務局) 一同の承認により、土屋委員を選考委員長とする。
(委員長) 新市立病院設計事業者選考委員会条例第4条第3項の規定に基づき、委員長の職務代理者を遠藤委員に指名する。
(遠藤委員) お引き受けする。
 - (3) 新市立病院の概要について
(事務局) 事務局より資料1～資料3について説明した。
(委員) ヘリポートについて、敷地形状から建築面積が小さい建物と想定されるが、建物上に配置できるか。
(事務局) 現時点では、ヘリポートの設置自体を検討中であるが、大きさとして屋上に十分設置可能である。
(委員) 敷地に隣接する神明小学校は、新病院の建設後にも残るのか。
(事務局) 神明小学校の他校との統合は予定されていない。
(委員) 小学校のグラウンドをヘリポートとして利用できれば、ストレッチャー移動のみとなるため、運用しやすいものと思われる。
 - (4) 事業者選考基準等について
(委員) 選考基準について、一次審査は実績を重視しており、特に災害拠点

病院での実績を求めているが、それらの実績を求める理由をご教示
いただきたい。

(事務局) 医療技術は日進月歩であり、病院建物の設計にあたっては医療技術
や社会状況の変化に対応することが求められる。また、建設事業の
基本となる基本設計が、その後の事業スケジュールに大きく影響す
るため、円滑に事業が進捗できるよう実績を重視した。災害拠点病
院の実績を求める理由については、災害拠点病院はライフラインが
停止した場合にも、機能を維持、運営することが求められ、新市立
病院も災害に強い病院のコンセプトの実現に向けて、災害拠点病院
と同水準の対応を行うため加点要件と設定した。

(委員) 採点基準が厳しいと思われるが、公立病院においては一般的である
か。

(事務局) 設定した基準は、公立病院では一般的であり、数多くの設計事務所
が参加可能な条件であることを事前に確認済みである。

(委員) 公立病院の実績を有することが加点項目とされているが、公立病院
の設計は建設費が高めの設計となりやすいことを念頭に置く必要が
ある。

(事務局) 設計の進め方について、民間病院と公立病院では異なることから、
公立病院の進め方を理解している実績を評価することとした。建設
費用については、ご指摘の通り高めとなりやすい性質であることか
ら、十分な協議を行っていききたい。

(事務局) 一次審査については、事務的な手続きで選考を行うことができるた
め、事務局に委任していただきたい。

(委員一同) 異議なし。

(委員長) 一次審査については、基準に沿って事務局に委任することを議決す
る。

(5) その他

(事務局) 今回は、選考基準等の審議であったため非公開として選考委員会を
行ったが、次回以降についても、公正な選考を行うために非公開と
することを提案させていただきたい。なお、選考終了後は、その過
程を公開する予定である。

(委員一同) 異議なし。

(事務局) 本日の議事録については、各委員にメールで送付する。承認、修正
の旨をご連絡いただきたい。

(6) 次回の日程

(事務局) 第2回新市立病院設計事業者選考委員会は2月20日(木)に開催しま
す。